

経営比較分析表（令和3年度決算）

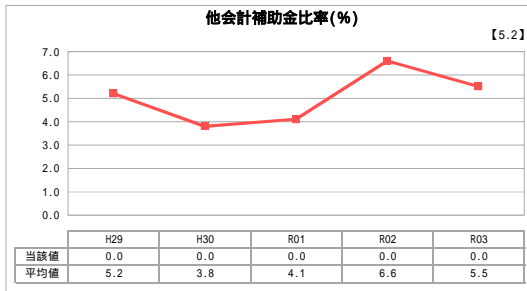
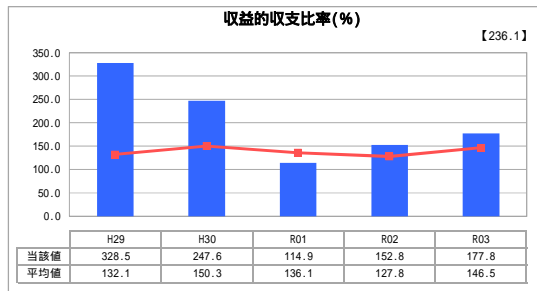
兵庫県神戸市 三宮第2駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	48	

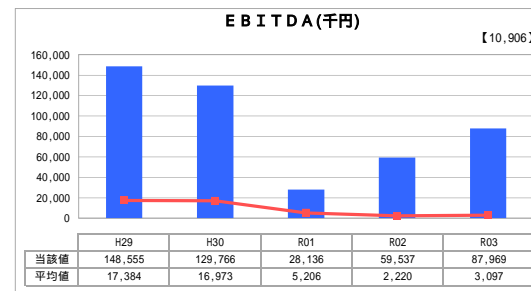
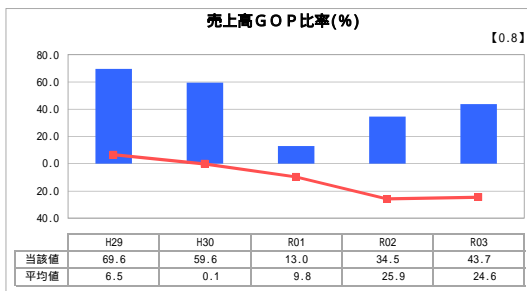
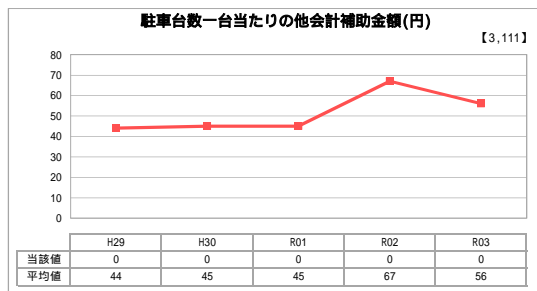
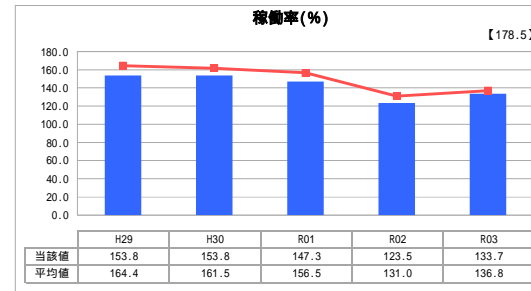
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	19,348
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
519	400	代行制

グラフ凡例
当該施設値(当該値)
類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

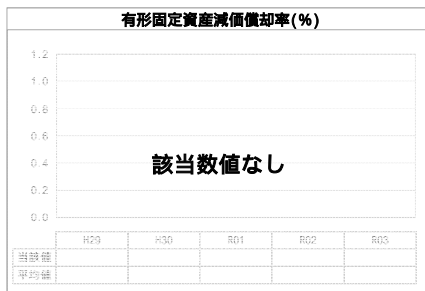
1. 収益等の状況



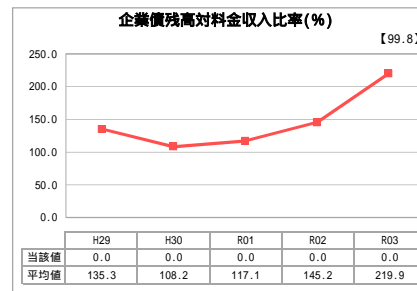
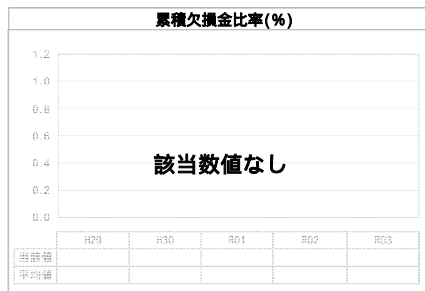
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



敷地の地価(千円)
0
設備投資見込額(千円)
649,830



分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率について、前年度から増加し、類似施設の平均も上回っている。
 売上高GOP比率、EBITDAについても、前年度から増加しており、類似施設の平均値を大きく上回っている。
 健全な経営状態といえる。市街地中心部に立地し、平日のビジネス利用や休日の観光等の需要が安定的に見込まれることが要因であると考えられる。

2. 資産等の状況について
 設備投資見込額について、駐車場の規模が大きいこと、供用開始から50年以上経過していることから昨年度より増加している。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。
 企業債残高対料金収入比率は、平成29年度より0となっている。

3. 利用の状況について
 稼働率について、経年比較においてほぼ横ばいであり、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いているが前年度より微増している。周辺施設への営業活動等、指定管理者と連携しながら利用台数の増加を図っていく。

全体総括
 経営状況は安定しているため、都心三宮再整備に伴う周辺土地利用環境の変化も踏まえ、引き続き指定管理者と連携しながら、収益の増加及び安定化を目指していく。